



先生も
がんばる



教育研究所で 土曜日に勉強!

学校週5日制になると、先生たちもさらに勉強し、新しい授業のあり方などを研究していかなければなりません。

そこで秋田市教育研究所では、4月から毎週土曜日、先生たちに研究所の研修室などを開放することにしています。

ここで先生たちもパソコンの勉強や図書閲覧、研修課題を持ち寄っての話し合い、情報交換などをして、週5日制を充実したものにしていきます。

ネットスペース

ノートパソコン10台を設置し、パソコン研修が可能。

図書閲覧

研究所所蔵の教育関連の図書などを閲覧。

和楽器・ピアノ練習

先生のピアノ練習や合唱の練習もできます。和楽器も設置する予定です。

協議、会議

校内研修、個人研修、グループ研修などをします。

相談

児童生徒の不登校など父母や教師の悩みを聴き、広く教育相談に応じます。

エルネット視聴

文部科学省の衛星配信で大学教授などの著名人の講演を視聴します。



地域の活動事例

地域のかたの 支援が必要です



大人も友だちを三人つくる



桜小
桜たんけん塾
遠田順夫さん
(桜四丁目)

平成七年から桜小の四年生以上を対象に、遊びや人との触れ合いなどの機会をつくっています。家族との対話が少なくなり、加えて地域とのつながりも希薄だったりするからです。地域は、学校と家庭の潤滑油の役割を担うところだと思っています。また、地域、社会には、学校や家庭にはないルールがあります。それを知ることによって生きた力が育てられていくし、主体的に考え、判断し、意欲的に行動するようになります。大人がちよっと後押しすれば、子どもの自信につながり、ゲンと成長するんですね。

まずは大人同士で友だちを三人つくることを考えてみる。すると、何かが生まれてくると思います。

地域で育てる実践の場



下北手小
ジュニアスポーツクラブ
藤田米蔵さん
(下北手松崎)

第二・第四土曜日、クラブ活動に入る前の四年生以下の子どもたちを対象に、体育館などで、フライングディスクやスポーツチャランバラ、雪上遊びなどのスポーツやゲームで交流しています。

今の子どもたちは積極的に外で遊ばないし、遊びの開発もできないので、その手助けをしてあげるのが大人の役割と考えています。

今後の課題は、いかに、子どもの両親、地域の人たちが参加してくれるかです。定期的に行うには、人手不足は避けて通れない問題ですから。

地域の子どもは地域で育てる。これが実践できる場として四月からもういんな遊びを考えています。地域のみならず、ぜひ参加してください。

いろんな経験から学ぶもの



杉の子クラブ
越前 久さん
(牛島東一丁目)

杉の子クラブは、小学生の遊びの機会を、自然、科学、音楽など得意分野を持った仲間十人で支援しているクラブです。

最近の子どもに関わる事件や問題を聞くと、とても気がかりです。私がかつどの頃はいじめや不登校という問題はありませんでしたし、貧しい時代でも生きる楽しさがありました。その気持ちを今の子どもたちにも味わってほしいと思います。

ゲームやパソコンでは感じることもできない、臭いや味、感触、人付き合い、思いやりの心、命の大切さなどは、生活やいろんな経験で学んでいくもの。子どもに指導するのではなく、一緒に遊ぶ感覚で、感動や自由な発想、知りたいと思う気持ちを共有しています。